

議案第1号

一般財団法人伊達市スポーツ振興公社第2期事業報告について

1. 概況

1) 市民を対象にしたスポーツ教室等の企画・実施

- ①自主企画事業及び②スポーツ情報誌の発行は未着手。
- ③ホームページの開設

2) 伊達市及び市民団体が主催するスポーツ・イベントへの支援

- ①市町村対抗福島県ソフトボール大会は5チームで予選を行い県代表チーム選出しました。
- ②チャレンジデー2014は広島県三次市と対戦し参加率32%で昨年に比べて5.1ポイント3043人の増ではありましたが0.5ポイント及ばず惜敗しました。
また、10月(磐山)、11月(保原)、2月(梁川)には、伊達市チャレンジデーとして最終水曜日に啓発イベントを開催した。
- ③県総体県民スポーツ伊達市大会は5種目のうちソフトボール・家庭バレーボールは予選を行い、卓球・テニスバトミントンチーム数が少なかったため予選を行わず合計で9チームの代表チームを選出し激励金を交付しました。
- ④第54回伊達ももの里マラソン大会は、過去最多の6810名のエントリーがあり260名参加の前夜祭を行い参加者との交流を図るとともに、大会当日は気温が24度と例年より低く体調を崩すランナーも少なく実施することができました。
- ⑤第35回三浦弥平杯ロードレース大会は、2年ぶりに1,000人を超える1407名のエントリーで開催された。35年の記念事業として記念誌の発行を行った。
- ⑥市町村対抗福島県軟式野球大会は開成山球場・あづま球場で行われ応援を行った。
市町村対抗福島県ソフトボール大会は相馬市光陽グラウンドで行われ応援を行った。
市町村対抗福島県縦断駅伝大会は、白河市から福島県庁までの区間で行われ応援を行った。
- ⑦その他スポーツイベントへの支援は9月に第68回全国レクリエーション大会が開催され3B体操全国交流大会・第二回伊達市健幸づくりウォークラリー大会への支援を行いました。
また、11月にはほばら大泉球場のこけら落としイベントを市から委託を受けて実施した。

3) 体育協会やスポーツ少年団をはじめとするスポーツ団体の育成

- ①伊達市スポーツ少年団本部への支援は、市補助金交付申請・登録手続・県総体参加申込・県スポーツ少年団評議員会認定員養成講習会受講申込・登録料大会参加料収納等を行いました。
- ②伊達市体育協会への支援は、市補助金申請・監査会・理事会・総会の開催・市体育協会事業交付金の支払いを行いました。

4) スポーツを通じた広域的な交流の促進

- ①9月7日、14日開催の伊達地方スポーツ大会に伊達市体育協会各チームの参加を支援し、伊達館内のスポーツ交流を促進
- ②12月7日開催の伊達地方一周駅伝大会に伊達市内の社会人、中学生チームの参加を支援し、伊達館内のスポーツ交流を促進した。(大会は降雪のため中止)

5) スポーツ施設の管理運営と有効活用

保原総合公園の利用人は132,665人で昨年より85,071人増加しました。
伊達体育館の利用人は33,378人で昨年同期より7,267人増加しました。
伊達テニスコートの利用人は7,244人で昨年同期より1,344人増加しました。
伊達グラウンドの利用人は2,561人で昨年同期より49人減少しました。
梁川体育館の利用人は29,728人で昨年より1,281人減少しました。

※保原総合公園は、平成25年度中に芝の張替えなど改修を行ったため、平成26年度は大幅増となりました。

6) 法人運営管理等

平成26年度は、事務所の開設に伴い、事務機や社用車の借り上げホームページの開設など、法人活動に必要な環境整備を行い、契約社員5名を採用しました。
また、平成27年度から保原総合公園および市内17体育施設の指定管理者の指定を受け、管理・運営について伊達市教育委員会および建設部と協議を行い、平成27年3月27日に指定管理協定を取り交わしました。